

SLOC（全国ストップ・ザ・ロコモ協議会）のロコモコーディネーター制度について

二階堂 元重¹ 藤野 圭司²

（目的）

SLOCは、今後ますます重要となる介護予防事業において自治体と連携し、安全かつ医学的根拠に基づいたロコモーショントレーニング（以下ロコトレ）を指導・実践する有資格者「ロコモコーディネーター」の養成を行っている。

（方法）

資格取得研修会は年3回全国主要都市で開催。受講資格は(1)保健師、看護職員、PT、OT又は日本運動器科学会認定セラピスト(2)常勤専従として5年以上従事した経験を有する介護福祉士又は主任ケアマネージャーの資格を有する者とする。1単位50分、計6単位の研修講演受講修了後、試験を実施。合格者には認定証を授与、ロコモコーディネーター名簿管理はSLOCで行い、資格の継続は5年間としている。

（結果）

現在資格者は1,459名。職種は46%がPT、次いで看護師、所属は医療介護施設が83%、行政関連施設15%である。おもな活動内容はロコトレ指導、ボランティア養成講座の実施、市民公開講座講師などである。

（考察）

SLOCは自治体との密なる連携が必須と考え、公益性の高いNPO法人として日本臨床整形外科学会から分離独立する形で活動をスタートした。現在全国4都市の自治体において運動器機能向上プログラム参加者を対象にロコモコーディネーター介入の有無によるロコモ事業効果の違いに関する調査、研究を実施中である。

1 医療法人二階堂医院 NIKAIDO Orthopedic Clinic

2 藤野整形外科医院 FUJINO Orthopedic Clinic